

日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会  
第 27 回 輸送容器分科会 (F3SC) 議事録

1. 実施日時 : 平成 25 年 4 月 12 日 (金) 13 : 00~14 : 30
2. 実施場所 : (株)オー・シー・エル 東京本社 大会議室
3. 出席者 : (敬称略)  
(出席委員) 久保 (主査代行), 木倉, 浅見, 丸岡, 伊藤, 谷内, 松岡, 清水, 大岩, 道券, 池田 (11 名)  
(代理出席委員) 日下 (松本代理), 田口 (滝谷代理), 高橋 (広瀬代理), 溝渕 (川上代理) (4 名)  
(欠席委員) 有富, 中川, 藤沢 (3 名)  
(欠席委員候補) 菱田 (1 名)  
(常時参加者) 磯部, 藤本, 高荷, 後澤 (山内代理) (4 名)  
(欠席常時参加者) 上田, 仙波 (2 名)  
(事務局) 室岡

#### 4. 資料

- 第 27 回輸送容器分科会座席表, 議事次第
- F3SC27-1 第 26 回 輸送容器分科会議事録 (案)
- F3SC27-2 人事について
- F3SC27-3-1 原子燃料サイクル専門部会の活動状況報告
- F3SC27-3-2 標準委員会の活動状況
- F3SC27-4 第 27 回輸送容器分科会 日本原子力学会標準 使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準 : 201X 改定 コメントリスト
- F3SC27-5 『使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準 : 201\*』 完本版 (公衆審査用)
- <参考資料>
- F3SC27-参考 1 輸送容器分科会委員一覧
- F3SC27-参考 2 輸送容器分科会常時参加者一覧

#### 5. 概要

日本原子力学会標準委員会原子燃料サイクル専門部会 第 27 回 輸送容器分科会 (F3SC) が開催され, 「使用済燃料・混合酸化物・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準 : 201\*」 の制定内容, 並びに今後改定が必要な標準についての確認を行った。

#### 6. 内容

##### (1) 出席者の確認

事務局より, 開始時 18 名の委員中, 代理出席を含め 14 名の出席があり, 分科会成

立に必要な委員数（12名以上）を満足している旨の報告があった。（会議途中で高橋代理委員が出席となり、合計15名の出席となった）

（2）前回議事録（F3SC27-1）

前回議事録については、事前配付がなされていなかったため、溝渕代理委員から内容説明が実施された後に、下記コメントを反映することで議事録は承認された。

- ・(5)①の“震災とは無関係と思われる。”→“震災とは無関係である。”

（3）人事について

a. 退任委員の報告

久保主査代行より、次の6名の委員の退任が報告された。

- 有富 正憲（東京工業大学）
- 大上 圭（原子力安全・保安院）
- 大西 忠聡（国土交通省）
- 丸岡 邦男（(独)原子力安全基盤機構）
- 滝谷 裕司（日本原燃（株））
- 広瀬 誠（原燃輸送（株））

b. 新委員の選任

新委員として、次の3名の委員候補の推薦があった。

- 菱田 政清（(独)原子力安全基盤機構）
- 田口 誠午（日本原燃（株））
- 高橋 純（原燃輸送（株））

決議の結果、3名を新委員として選任した。

c. 常時参加者の登録解除の報告と新規登録希望の承認

久保主査代行より、次の4名の常時参加者の登録解除が報告された。

- 熊野 裕美子（東京電力(株)）
- 西野 温茂（(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン）
- 植木 鉦太郎(MHI 原子力エンジニアリング(株)）
- 森本 恵次((一社)日本原子力技術協会)

新たに次の1名の登録希望がある旨紹介があり、決議の結果、承認された。

- 仙波 毅((一社)原子力安全推進協会)

d. 主査の選任

主査退任に伴い、出席委員（14名）で無記名投票を実施し、久保委員が14票を得て

主査に選任された。

e. 副主査及び幹事の指名

久保主査より、副主査に伊藤委員、幹事に松本委員の指名があり、承認された。

(4) コメントリストの確認

溝渕代理委員より、F3SC27-4 に沿って、前回分科会以降に実施したコメント対応について説明が行われ、原子力安全・保安院に対する説明、原子燃料サイクル専門部会及び標準委員会での対応内容が承認されていることを確認した。

(5) 輸送容器分科会担当標準の改定要否

輸送容器分科会が作成した次の2つの標準について、定期改正作業の要否確認が実施された。出席委員に確認した結果、具体的に改定が必要となる箇所はなかったが、欠席委員にも改定要否確認を行い、改定要望が出た場合は、次回の輸送容器分科会にて改定内容の検討を開始することとなった。

なお、輸送容器分科会終了後、欠席委員（中川委員、藤沢委員）に確認した結果、改定は不要との回答を得ている。

- ・使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物・低レベル放射性廃棄物輸送容器定期点検基準：2008（AESJ-SC-F001:2008）
- ・低レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準：2008（AESJ-SC-F013:2008）

(6) 原子燃料サイクル専門部会及び標準委員会の活動報告

事務局より、F3SC27-3 に沿って、原子燃料サイクル専門部会及び標準委員会の活動状況について報告があった。なお、次回原子燃料サイクル専門部会は、5月21日（火）、標準委員会については、6月14日（金）に実施される予定。

(7) 今後の予定について

- ・制定決議を受けた「使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準：201\*」は、事務局が実施している転載許諾取得が完了した後に、準備が整い次第発行される予定。
- ・「使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準：201\*」のエンドースについて、事務局調整を希望する意見が出たが、事務局より、他学会（機械、電気）の規格類のエンドースについて規制庁と調整を行った上で個別案件の取扱いとなる旨、説明があった。

- ・ 次回の輸送容器分科会は、開催の必要性が確認された段階で日程調整を実施する。
- ・ F3SC27-参考資料の所属や連絡先で、変更を希望するところがあれば、溝渕代理委員へ連絡すること。

以 上